

## 各科目の概要

### 【グローバルマインド育成科目】

#### ■ 世界の教育・日本の教育

グローバル教員に求められているのは、自国の教育だけではなく、世界の教育への対応である。自国である日本の教育について包括的に理解し、その理解に基づいて世界各国の先駆的な教育について理解することを目指す。授業では、世界各地で行われている多様で、多彩な教員の実践的な教育活動を、DVDなどに収録された授業の観察を通して理解する。それらを踏まえて、自国の教育のこれから求められる姿についても検討する。

#### ■ 教育とグローバルマインド

グローバル化が進む昨今、多様な文化的・宗教的背景を持つ人々と関わっていくことは不可避である。そこで求められるのは、単なる外国語の円滑な運用能力だけではない。論理的に思考し議論すること、物事を多面的・批判的に捉えること、そして多様な意見を折衷・止揚することが求められる。本科目では、グローバルマインドと言うべきこれらの能力・態度を身に付けさせるための指導の在り方について理解する。

### 【教育実習】

#### ■ グローバル教育実習入門

グローバル化対応の先駆的な学校の視察を通して、現代の教育事情を理解する。広島県内のSGH(スーパーグローバルハイスクール)を訪問し、英語・日本語での授業を観察し、協議会などに参加する。グローバルな視点に立った教師としての動機づけを高めることをねらいとする。

#### ■ グローバル教育観察実習

英語・日本語を用いた授業実践力の基礎を獲得することを目的とし、国内のSGHにおいて一定期間、実践的活動(指導補助を含める)を行う。座学により獲得した英語・日本語による授業計画、指導法、評価法等の知識・技能を関連づけ、学習者との相互作用の中で、教授・学習に関わる具体的な教育実践を行う。

### 【教育方法・カリキュラムに関する科目】

#### ■ 英語授業の計画と指導

英語で授業を実践する際の計画と指導の内容、方法を検討する。具体的には、自己の専門分野を題材とし、英語による単元計画の立案、その計画を実践する際の具体的な指導方法(ICTの活用、学習形態の工夫なども含む)を学ぶ。

#### ■ 英語マイクロティーチング

指導計画の作成、教材研究、授業実践および省察からなる一連の教授活動について、模擬授業を通して体験的に学び、英語による教科指導力の向上を図る。教科指導に伴い、授業運営上必要となる英語表現(Classroom English)に関する知識と技能の習得も目指す。

## ■ インターナショナルスクール教科書基礎研究

インターナショナルスクールで実際に使用されている教科書に触れることを通して、各教科における学習内容を知るとともに、その内容を効果的に教える方法について考察する。この授業は、原則として日本語で行う。

### 【英語科目】

#### ■ 教育の英語基本用語 I・II

学校、授業、児童・生徒など、教育・学習に関連する専門用語を、英語で学ぶことを目的とする。英語単語を学ぶという個人による作業のため、インターネットを活用した自学自習（e-learning）形式で行う。Iでは、（初・）中・高等学校や各教科に共通する教育用語を1500語、またIIでは、各学校、各教科に特徴的な教育用語を1500語、それぞれ習得する。I・IIの両方において、中間・期末試験を行い、習熟度を評価する。

#### ■ 教科書の英語表現 I・II

「インターナショナルスクール教科書基礎研究」と連動する授業科目である。各教科書に登場する英語の語句や定型文を、インターネットを活用した自学自習（e-learning）形式で学習する。I・IIの両方において、中間・期末試験を行い、習熟度を評価する。本授業を通して、英語で授業を行うときに使用する英語表現の基礎力が身につくと考えられる。

### 【異文化体験科目】

自国である日本の文化と他国の文化を直接的・間接的に体験し、文化（言語を含める）の比較・検討を行うことによって、教育の分野に限らず、物事を複数の視点から見ることができる力を養成する。具体的には、海外実習が体験できる「海外フィールドスタディ」（教養教育科目）などの履修を勧める。

### 【海外留学】

海外生活を通して、英語コミュニケーション能力の向上と、グローバル人材に求められるチャレンジ精神、異文化理解・適応力、問題解決能力等の育成を図ることを目的とする。平成28年度から実施される、アメリカ初等・中等教育をリードするミシガン州立大学への留学を、強く勧める。広島大学が提供するHUSAプログラムによる留学や、その他、長期休暇中に計画される海外インターンシップや海外研修のプログラム等へも積極的に参加することを勧める。